

## 必ず施工前にお読み下さい

## フローリング施工要領

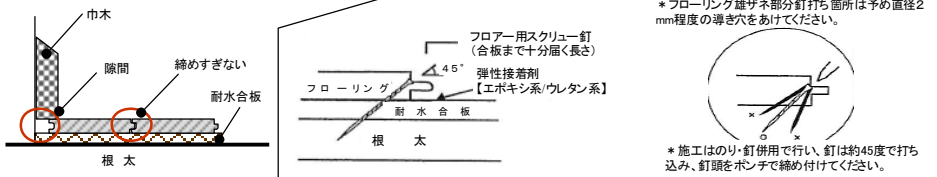
無垢のフローリングは周囲の湿気により伸縮する性質があります。施工には下記の点を留意して下さい。

### 施工上のご注意

- ◆ 無垢材は生きて呼吸をしています。施工の一週間前には開梱し、現場の環境に馴染ませてください。ただし長期保管する場合は梱包を開けたままにしないでください。湿気を吸収し施工後の不具合の原因となります。
- ◆ 保管の際、水漏れの可能性のある場所・湿気の多い場所・直射日光の当たる場所には置かないでください。また、立て掛けて保管することも厳禁です。
- ◆ 天然木無垢製品は節・色目・柄がそれぞれ異なります。施工前に必ず仮並べを行い、バランスを取ってください。
- ◆ 湿気の無い乾燥した場所、床下換気が十分な場所に施工してください。
- ◆ 下地合板が水分や湿気を含んでいないことを確認してください。水分や湿気を含んでいる場合、フローリング材の伸縮・反り・膨れ・カビなどの原因となります。

### 木質下地への施工

- ① 下地
  - ・ 床下からの湿気を防ぐためにも根太の上に②12mm以上の一類耐水性合板を使用してください。根太と合板の間に防湿シートを敷くことをお勧めします。
  - ・ 合板下貼り後、合板面の水平を必ず確認してください。床鳴りや目違いの原因となります。
  - ・ フローリング材と合板の間に遮音マット・シートを敷くとフローリング材が動く原因となります。遮音マット・シートに直接施工しないで下さい。
- ② 仮並べ
  - ・ 施工1週間前には開梱し、現場環境に馴染ませ、節・色目・柄のバランスを調整しながら仮並べをしてください。
- ③ フローリング貼り
  - ・ 壁際に必ず5~8mmの隙間を設けてください。天然木は馴染むまで伸縮を繰り返します。気候条件・季節・部屋の湿気にも影響を受けますので、巾木で隠せる程度の隙間を空けておくトラブル回避となります。
  - ・ 接着剤と釘の併用で施工してください。
    - 接着剤・・・エポキシ系又は1液型ウレタン樹脂系。(木工用ボンドは不可。床鳴りの原因になります)
    - 釘・・・フロー用。耐水合板に十分届く長さ。
  - ・ 接着剤は部分的塗布を避け、節目ゴテ等で延ばし全体に塗布してください。
  - ・ 釘はサネの部分に150~300mm間隔で打ち、下地に固定してください。フローリングを傷つけないようサネ側から45度の角度で頭が沈む程度まで打ち込んでください。
  - ・ 乾燥期は床材と床材の間隔は名刺2枚(0.3~0.5mm)位の余裕を持って施工してください。



- ※釘が耐水合板まで十分届いていない場合、フローリングが動く原因となります。
- ※伸縮に対処する為締めすぎにご注意ください。エアガンを使用する場合はサネを傷つける恐れがある為圧力の調節にご注意ください。
- ※施工する季節及び全館空調の有無によっても調整が必要です。乾燥期に施工する場合はやや余裕を持って貼ってください。

### ④ 養生

養生テープは強力なものを使用すると塗装面を剥がしてしまう場合がありますので、弱粘着性のタイプで、表面保護の為通気性のあるものをご使用ください。

施工方法はあくまでも一般的な事例を紹介しております。当社にこれに基づく設計・施工上の不備に対して一切の責任は負いかねますのでご了承下さい。また、施工後の伸縮、反り、割れ、変色などの発生、及び諸条件による経年変化は天然木の性質上避けられません。これに関する苦情、返品、交換等はご容赦頂きますようお願い申し上げます。

**HOWDY**  
ハウディー株式会社

本社・東京営業所 〒101-0032 東京都千代田区岩本町3-5-5 アーバンスクエア岩本町ビル5F

TEL 03-3866-1711(代) FAX 03-3866-2030

2010.11

## フローリングお手入れの手引き

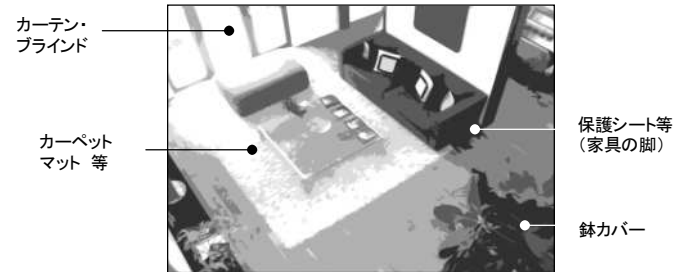
## 必ずご使用前にお読み下さい

無垢のフローリングをいつまでも美しくお使いになる為に以下の点にご留意下さい。

	注意	注意が必要な内容であることを意味します。
	禁止	「してはいけない」禁止の行為を示します。
	強制	必ず実行していただく「強制」「指示」の内容を意味します。

### I. 設置上のご注意

- ⚠ 無垢フローリングの表面は、紫外線に直接当たる箇所は色褪せの要因となります。カーテンを使用するなど、できるだけ直射日光は避けてください。
- ⚠ 雨漏れ、水こぼしはシミの原因となりますので速やかにふき取ってください。観葉植物など鉢の下には水受け皿などを使用してください。浴室周辺など水廻りの近くではマットなどを使用してください。
- ⚠ 家具の脚や台輪はフローリング表面に傷がつく原因となる事があります。市販の保護シートをお使いになるなど床面を保護してください。重量物を置く場合には重量を分散させてください。
- ⚠ 家具を移動させる場合などは引きずらないようご注意ください。
- ⚠ 電気カーペット、温風ヒーター、ストーブなどの熱が直接当たるような使い方は避けてください。表面割れ、隙間、反りを引き起こす原因となります。これらを使用される場合は、断熱性の高いマットを敷いてご使用下さい。※断熱マットは家電小売店などでお買い求めください。
- ⚠ 無垢材は、温度や湿度などの条件によって膨張・収縮変化を起こすことがあります。湿度が30%以下になると過乾燥による反りなどが発生することがあるため、室内の湿度を35~60%に保つことが大切です。



### II. お手入れ上のご注意

メンテナンスフリーのフローリング材です。  
毎日のお手入れは、掃除機などで砂やほこりを取り除いた後、乾いた布で乾拭きを行ってください。

ワックスの塗布は必要ありませんが、塗る場合においては、以下の点にご注意下さい。

- ❗ 樹脂を主成分としたフローリング用水性樹脂ワックスをお選び下さい。
- ❗ ワックスは布等に少量を含ませ、フローリング1枚に薄く延ばし、丁寧に塗布してください。目地からワックスがしみ込み木材が吸収すると突き上げなどの不具合の原因となります。
- ❗ ワックスを直接フローリングにまく、垂らす、モップなどで広範囲に塗り延ばす方法は厳禁です。※木材が吸収し突き上げなどの原因となる事があります。